

平成21年度 学校農業クラブ指導者養成講座実施要項

1. 目的

高等学校における農業クラブ活動とその運営について必要な知識と技術を習得させ指導者としての資質の向上を図り、もって高等学校における農業クラブの充実に資する。

2. 主催

文部科学省・全国農業高等学校長協会・日本学校農業クラブ連盟

3. 会期

平成21年 7月27日(月)～7月29日(水)

4. 会場

独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター、センター棟

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL 03-3467-7201(代)

連絡先	日本学校農業クラブ連盟	E-mail : jimu@natffj.org
	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-3-6 日教弘ビル 2F	
	TEL 03-5367-2925	FAX 03-5367-2926

5. 日程・内容

(敬称略)

第1日目 7月27日(月)

9:50～10:20 受付

9:50～10:20 (座長・記録の方は分科会運営打合せ)

10:30～11:00 開講式

(1) 開式の言葉

(2) 主催者挨拶

文部科学省初等中等教育局児童生徒課 産業教育振興室教科調査官

文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター

研究開発部教育課程調査官

添野 龍雄

全国農業高等学校長協会理事長 東京都立農業高等学校長

佐野 幹男

日本学校農業クラブ連盟代表 千葉県立大網高等学校長

松林 謙梧

(3) 来賓挨拶(予定)

農林水産省経営局人材育成課長

角谷 徳道

東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長

宮本 久也

(4) 閉式の言葉

11:00～11:30 講義
講 師 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 産業教育振興室教科調査官
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
添野 龍雄
題 目 「学校農業クラブとプロジェクト活動」

11:30～12:10 講義
講 師 日本学校農業クラブ連盟専門委員長
群馬県立勢多農林高等学校教諭 井田 宣昭
題 目 「農業クラブの知識・基礎基本」

12:10～13:10 昼食・休憩

13:10～14:40 講演
講 師 須田 孫七 氏 [東京大学研究所・昆虫]
題 目 「自然環境の多様性とその指導」

14:50～17:30 事例研究発表・研究協議
発表者(1)熊本県立鹿本農業高等学校 教諭 大倉 龍喜
『がんばる高校生！食料自給率の向上をめざして ～新たな米粉製品の開発と普及に関する研究～』
(2)岩手県立盛岡農業高等学校 教諭 牧 一郎
『母なる大地に緑の衣を』～スーパー植物を活用した環境浄化に関する研究～』
(3)熊本県立八代農業高等学校 教諭 細川 るり香
『地域をつなぐ園芸福祉の拠点づくりを目指して ～「八農園芸コミュニティ」創設への軌跡～』

18:00～20:00 <教育情報交換会>

第2日目 7月28日(火)

9:00～9:40 講義
講 師 前 日本学校農業クラブ連盟専門委員
静岡県立田方農業高等学校教諭 久保田 豊和
題 目 「～今こそ農業クラブ活動を～」

9:50～12:00 分科会(研究協議)

12:00～13:00 昼食・休憩

13:00～14:30 講演
講 師 加藤 義松 氏 [練馬・体験農園園主]
題 目 「未来を拓く都市農業」

14:50～17:00 分科会(研究協議)
17:10～18:10 分科会担当者打合せ

第3日目 7月29日(水)

9:00～11:50 全体会(分科会報告・研究協議)

12:00～12:30 指導講評

文部科学省初等中等教育局児童生徒課 産業教育振興室教科調査官
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
添野 龍雄

12:30～12:50 閉講式

- (1) 開式の言葉
- (2) 主催者挨拶

文部科学省初等中等教育局児童生徒課 産業教育振興室教科調査官
文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
研究開発部教育課程調査官
添野 龍雄

全国農業高等学校長協会理事長 東京都立農業高等学校長

佐野 幹男

日本学校農業クラブ連盟代表 千葉県立大網高等学校長

松林 謙梧

- (3) 閉式の言葉

6. 事例研究題目

- (1) 共通協議題目
「学校農業クラブ活動の推進とプロジェクト学習の指導」
- (2) 第1分科会協議題目
「プロジェクト学習の在り方とその効果的な指導」
- (3) 第2分科会協議題目
「学校農業クラブ活動の推進とその指導」

7. 参加者

- (1) 参加資格
各都道府県教育委員会の農業担当指導主事又は、高等学校の農業担当教員(実習教諭を含む)
- (2) 参加者数
各都道府県 2名。但し、北海道は6名とする。

8. 参考資料等

- (1) 「FFJナビゲータ」(平成21年度版)
- (2) 「全国大会実施基準」(平成21年度版)

9. その他

参加者は研修会における座長(分科会の司会とまとめ)や記録(記録テープから文字に起こす等)を分担する。